

宇治市中学校給食検討委員会会議録（第2回 概要）

第2回				
出席者	委員	坂本 裕子（京都華頂大学 教授） 野田 遊（同志社大学 教授） 藤井 宣夫（北小倉小学校 校長） 田中 康（東宇治中学校 校長） 丹羽 寛美（大久保小学校育友会 会長） 中村 彩子（南宇治中学校育友会 会長） 大西 利奈（西大久保小学校 栄養教諭） 西本 真里（槇島小学校 栄養教諭）	日 時	2018年9月7日(金) 14:00～15:30
	事務局	宇治市教育委員会 伊賀部長、山本副部長、吉田学校教育課長 兼久保健給食係長、大西主任、宮山主任、加藤 主事 株式会社社長大 川田	場 所	宇治市役所 8階大会議室
欠席者	委員	長谷川 良（木幡中学校 教務主任）		
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の委員会スケジュールと協議内容について 2. アンケート調査内容（素案）について 3. 学校給食実施方法の比較検討一覧について 4. 現地見学候補（給食センター）について 5. 中学校給食実施方式別メリット・デメリット考察シートについて 			
協議資料	<p>【資料】</p> <p>資料1：委員会スケジュールと協議内容 資料2：アンケート調査内容（素案） 資料3：実施方法の比較検討一覧 資料4：事例見学（給食センター）候補 資料5：中学校給食導入に向けた今後の検討内容について（案） 資料6：中学校給食実施方式別メリット・デメリット考察シート</p> <p>【参考資料】</p> <p>給食実施方式について</p>			
<p>1. 開会</p> <p>事務局：あいさつ及び委員の出席が半数以上であったことから委員会設置要項に基づき委員会 が成立していることを説明。 第3回、第4回委員会の日程調整について、各委員に日程調整の案内を送付するこ とを説明。 委員の司会進行について、委員長に一任することを説明。</p>				
<p>1. 今後の委員会スケジュールと協議内容について</p> <p>坂本委員長：事務局より資料1の説明をお願いします。 事務局：資料説明 坂本委員長：説明ありがとうございます。これまでの内容について、質問はありますか。 《各委員質問なし》</p> <p>2. アンケート調査内容（素案）について</p> <p>坂本委員長：説明2の説明をお願いします。 事務局：資料説明 坂本委員長：説明ありがとうございます。質問はありますか。 委員：中学校給食の実施について、市民の費用的な負担は項目に載せないのでしょうか。 事務局：今回のアンケート項目はあくまで事務局案であるため、委員会として、費用負担の項 目を追記すべきと協議の上決定した際は、内容を検討します。 坂本委員長：市民にとっても経費の懸念はあると思いますが、今回実施するアンケートに含めない のでしょうか。 委員：この委員会で中学校給食をどの実施方式にするか検討しなければなりません、費用</p>				

負担は、検討項目の一つではないかと考えています。項目を追加するとすれば、保護者用アンケートではないかと考えています。良い中学校給食が実施されることはコスト負担にも繋がります。

坂本委員長：資料1に委員会の中で事務局より各実施方式の概算事業費について提示されることとなっておりますが、市民の費用に関する評価を認識しておく必要もあると思います。

坂本委員長：給食費は費用として発生するのでしょうか。

事務局：食材費として、保護者から徴収します。

坂本委員長：費用に関して、アンケート項目の5の や9の でも記載されていますが、9の の軽減は費用のことを指しているのでしょうか。

事務局：給食費や保護者の弁当を作る作業負担などを指しており、施設整備に関する費用負担についてはありません。

施設整備の負担については、事務局で検討することを想定しています。

坂本委員長：施設整備における費用負担については追加しますが、対象者と聞き方については、事務局に委ねます。

事務局：承知しました。

3. 学校給食実施方法の比較検討一覧について

坂本委員長：資料3の説明をお願いします。

事務局：資料説明

委員：食育について、給食センターの場合、中学校に栄養教諭が配置されないのでは、ではないのでしょうか。

事務局：この評価についても、事務局案のため、委員の意向を踏まえて修正します。

4. 現地見学候補（給食センター）について

坂本委員長：他に質問はありますか。なければ、資料4の説明をお願いします。

事務局：資料説明

委員：給食センターなら京都府内にもありますが、資料の事例はどのように選定したのでしょうか。

事務局：中学校の生徒及び教員を合わせると5,000食程度の給食センターになりますが、京都府内ではその規模の給食センターがありません。また、新しい給食センターのイメージを委員で共有して頂きたいため、近年整備された宇治市と食数規模が近い給食センターを例示しています。事例として4事例挙げましたが、各委員で知っている給食センターがあればご教授いただきたいです。

委員：食数規模が違えば施設規模が違えば良く分かりますが、栄養教諭としては、出来れば京都府内で同じ指導を受けている給食センターを見学したいと考えています。

事務局：事務局としては、実施する食数に対してどれほどの大きさの敷地や施設が必要になるかは、実際の施設を見学しないと把握できないと考え、事例施設を選定しています。委員として、指導内容等に関する視点で給食センターを選定して頂いても問題ありません。

委員：施設規模が同等のものと指導内容が同等なもの2つの給食センターを見学するのはどうでしょうか。

事務局：各委員の日程次第です。先方との調整もあるので、2つとなった場合は日程が合う方に参加して頂いてかまいません。

委員：京都府内の給食センターを見学するのであれば、京都府の優良施設を見学する方がよいのではないのでしょうか。

坂本委員長：給食センターの見学について議論していますが、自校方式についても見学することと、自校方式はどこを見学するのでしょうか。

事務局：宇治市内の小学校を見学する予定です。

委員：宇治市に規模や地理的条件、交通条件などが近い市のセンターを見学するのがよいと思いますが、今のままだと提示されている条件が少ないと考えます。

事務局：交通量も同じ条件の事例を探すのは難しいです。2時間喫食を考慮すると、宇治市内では敷地がどこであっても問題ありません。

委員：中学校給食の実施方式が給食センターに決定したわけではないので、現地見学の視点が難しいと考えます。

事務局：資料3に各実施方式を比較する際の視点を記載しておりますが、こちらについても、

事務局案であるため、現地見学後に項目を検討していただきたいです。

委員：実施方式の比較検討について、現地見学の主旨を考慮すると情報が少ないと思います。

事務局：給食センターについて、どのような情報があれば検討できるのか、提供して欲しい情報の内容を提示して頂きたいです。

委員：立地など市の現状と近い施設が望ましいと考えます。

坂本委員長：現時点で宇治市と近い条件である施設をピックアップすることは難しいとのことなので、後日、事務局から次回委員会の日程調整と合わせて、給食センターの事例について情報の提供を依頼します。

事務局：承知しました。

5. 中学校給食実施方式別メリット・デメリット考察シートについて

坂本委員長：説明5と6の説明をお願いします。

事務局：資料説明

坂本委員長：自校方式と給食センターは現地見学するが、他の実施方式を検討するうえで、この視点でよいでしょうか。

委員：まだ漠然としているので、現地見学してみないと分からないこともあると思います。このシートに視点についても随時書き込んでいけばよいと思います。

坂本委員長：実施方式の比較検討項目についても、今後追加していく方向でよいと思います。

6. 閉会

事務局：以上で、委員会を終了いたします。ありがとうございました。

以上